

1
預言者たち
聖徒伝 135

「聖霊の力で 歩もう」

ヨエル書

南北時代の終末預言とペンテコステ

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 危機の警告 ヨエル書1章1～14章

II. 主の日

① 神の裁き ヨエル書1章15節～2章11節

② 民族的回心 ヨエル書2章12節～27章

III. メシアによる回復

① 聖霊の注ぎ ヨエル書1章28節～2章32節

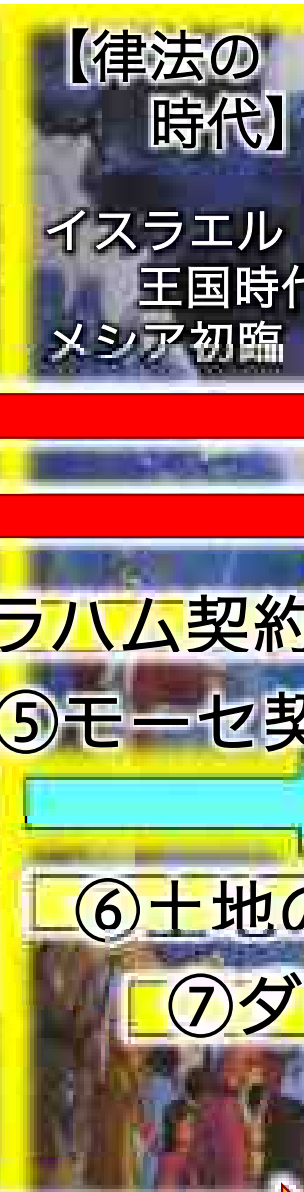
② 千年王国 ヨエル書3章

IV. まとめと適用

ペンテコステは、ヨエル書の成就？
教会時代のゴールを見据えて歩もう



徹底して
ヨエル書から
ペンテコステを
読み解くなら？



【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル
王国時代
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

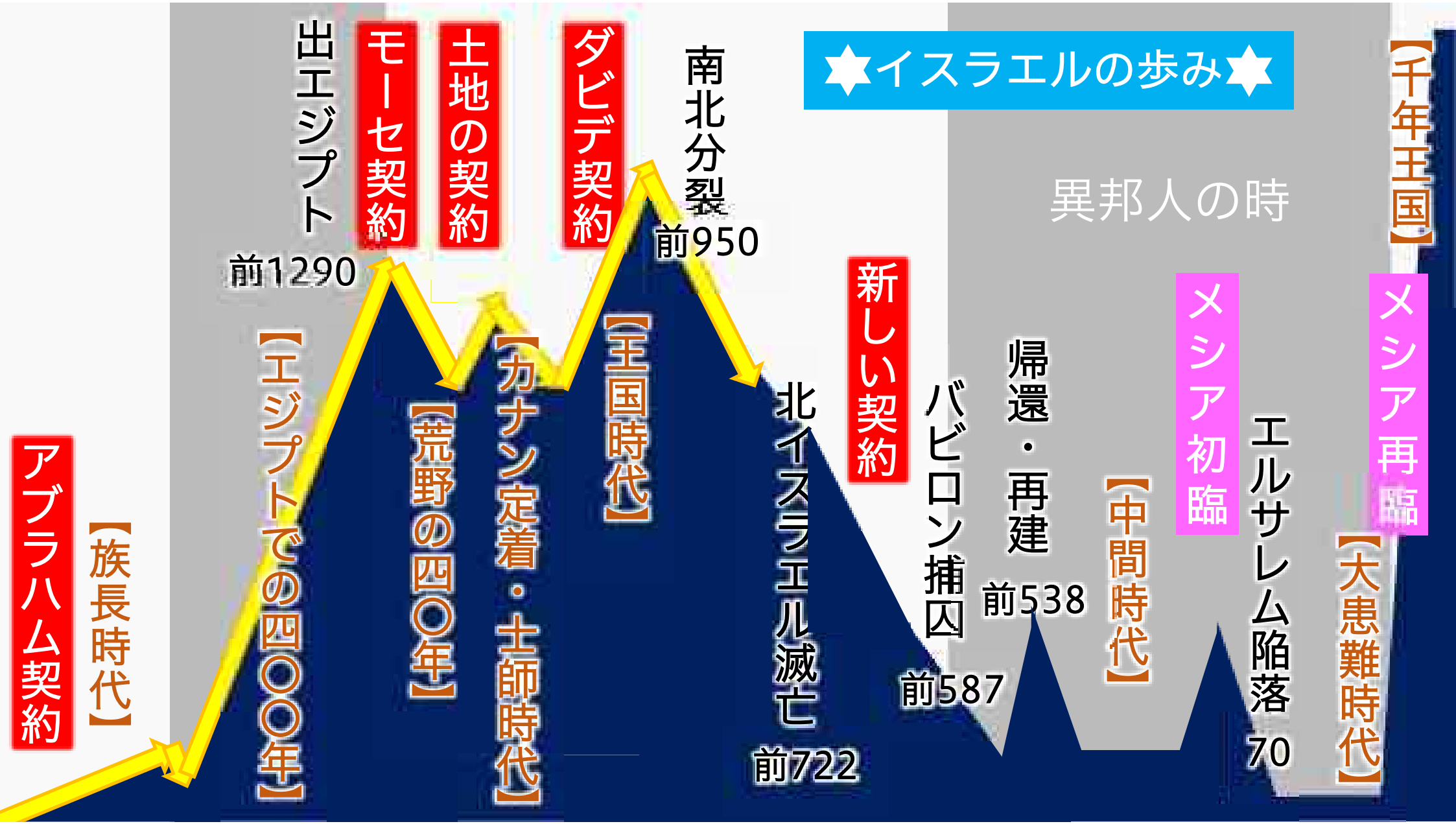
どの時代も
神の約束が礎にある

過去

現在

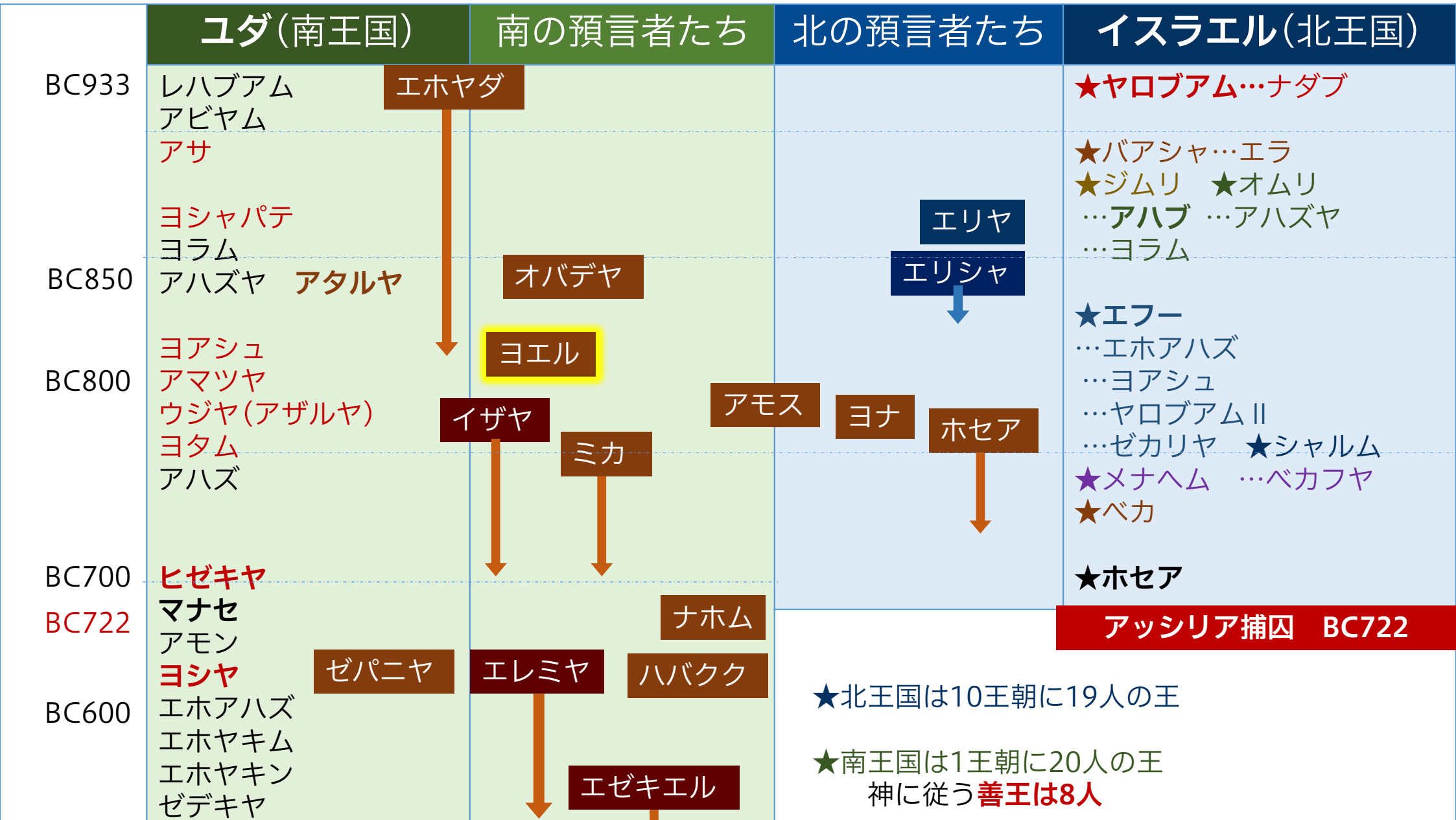
未来

★イスラエルの歩み★



列王記 (第一〜第二)

第一	1〜11章	ソロモン王の治世 神殿建築	イスラエル(統一王国)		
	12〜16章	王国の分裂	ユダ(南王国)	イスラエル(北王国)	
第二	17〜22章	預言者エリヤ (アハブ王の生涯)	レハブアム アビヤム アサ ヨシャパテ ヨラム アハズヤ アタルヤ ヨアシュ アマツヤ ウジヤ ヨタム アハズ ヒゼキヤ マナセ アモン ヨシヤ エホアハズ エホヤキム エホヤキン ゼデキヤ	オバデヤ ヨエル イザヤ ミカ エレミヤ エゼキエル	ヤロブアム…ナダブ バアシャ…エラ ジムリ オムリ…オムリ…アハブ …アハズヤ…ヨラム エフー…エホアハズ …ヨアシュ …ヤロブアムII …ゼカリヤ シャルム メナヘム ベカフヤ ベカ ホセア
	1〜2章			エリヤ エリシャ アモス ヨナ ホセア	
	2〜13章	預言者エリシャ			
	14〜17章	二つの王国の歴史 北王国滅亡まで			アッシリア捕囚 BC722
	18〜25章	ユダ王国の歴史 滅亡まで	バビロン捕囚 BC586		★北王国は10王朝に19人の王 善王はなし ★南王国は1王朝に20人の王 神に従う善王は8人



ヨエル書とは？

■ 著者

ヨエル = “ヤハウエは神” 父はペトエル = “神のビジョン”

■ 時代背景

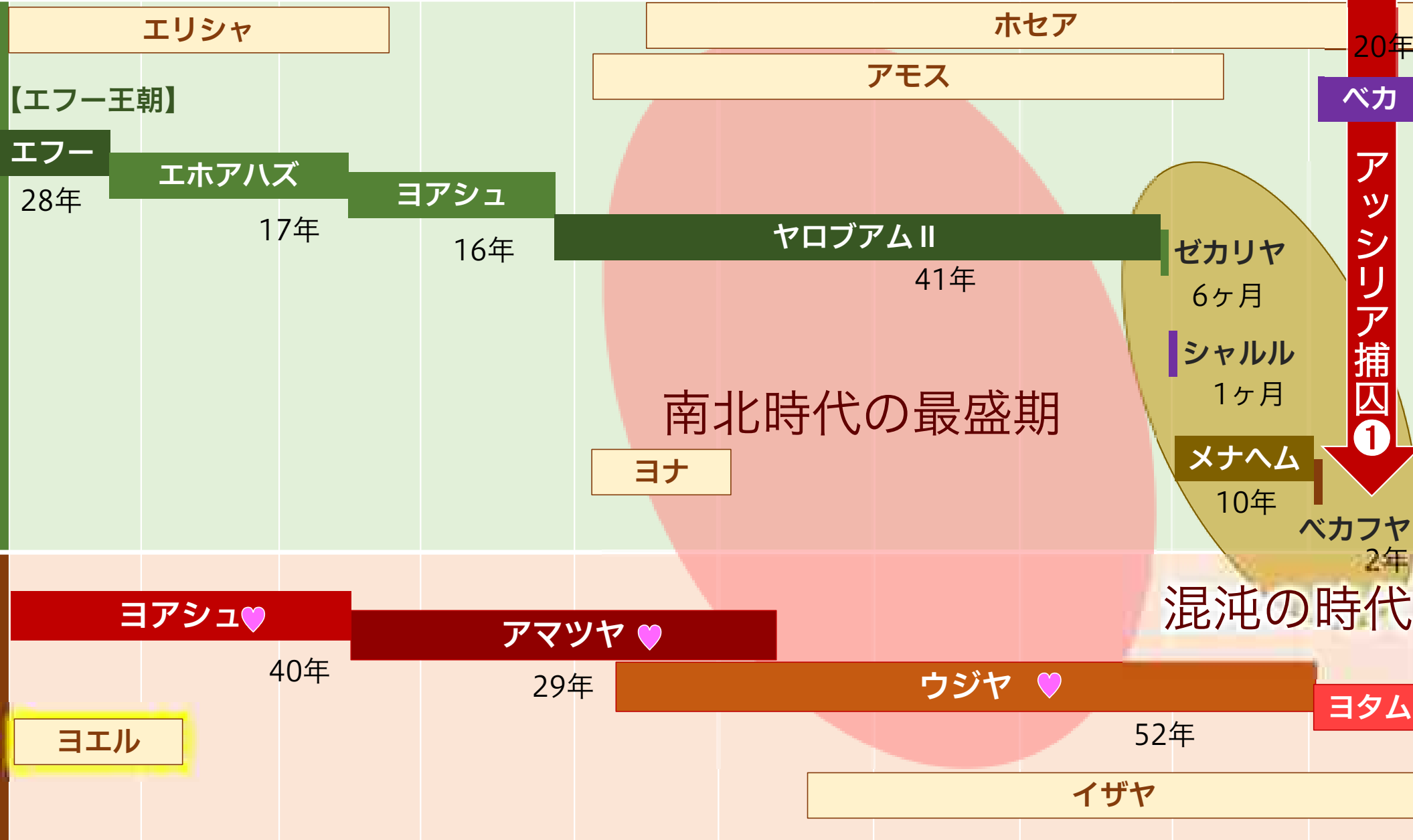
- ① 南王国で活躍。
- ② オバデヤ書の「主の日」のテーマを継承。アモス書が2度引用。
- ③ ヨアシュ王時代前半(善) → 偶像礼拝の罪の言及はない。
(※北は、最悪を脱したエフー王朝)

■ 特徴

- ① 「主の日」が中心テーマ
→ “主の裁きの日” 究極的には、“大患難時代”

北王国イスラエル

南王国ユダ



南北時代の最盛期

混沌の時代

アッシリア捕囚①

ベカフヤ 2年

南北時代は、預言者の時代

■ **預言者**とは、「**神の言葉を預かり、民に告げる者**」

→ **予見者**、**神の人**とも呼ばれる。…アブラハム、モーセも預言者。

■ 最初に**預言者**を組織化したのが、サムエルだった。(1サム10章)
ダビデが組織した奏楽隊は、**預言者**集団でもあった。(1歴25:1)

■ **預言者**たちは、神の律法を学び、人々に教えた。

危機の時代には、時に、**神の直接の言葉(預言)**を王や民に告げた。

■ イスラエルの背教により滅亡がせまる南北時代、

エリヤは、残された信仰者たちを集め、**預言者学校**を立てた。

多くの預言者が、王と民の下へ派遣され、神の警告を告げた。

南北時代の預言者たちが告げたこと

■理解のために大きく三つのテーマに分けるなら…。

①差し迫った危機の警告・悔い改めの促し

飢饉、戦争、帝国の侵略(アッシリア、バビロニア)

②世の終わりの「主の日」の裁き

主の日…大患難時代。イスラエルの裁き、諸民族の裁き

③メシアによる救い・世界の回復

イスラエルの救い。異邦人の救い。

順番通りではない!!
複雑に重なり、連続し
絡み合っている

預言書の理解が難しいのは、なぜ？

- 近い将来も、はるかな将来も、見分けがつきがたい。

例) 望遠レンズの圧縮効果

都庁と富士山の実際の距離は？

→ 最短ルートで130km!!



預言者の視点!!

- 預言書では、直近の出来事も、はるか先の出来事も同列。
→ ことが起こってみないと、時間の幅は分からない!!

【預言者たちからは、こんな風に見えるけど、実際は？】



【預言者たちが告げたこと】



預言書の基本を押さえた ヨエル書

① 差し迫った危機の警告・悔い改めの促し 1章1～14節
飢饉、戦争、帝国の侵略(アッシリア、バビロニア)

② 世の終わりの「主の日」の裁き 1章15節～2章
主の日(大患難時代)。イスラエルの裁き。

③ メシアによる救い・世界の回復 3章
イスラエルの民族的回心。救い。

ほぼ順番通り!!
とても親切な
基本的預言書!!



I. 危機の警告

ヨエル書 1章1～14節

【預言者たちが告げたこと】



南北時代



① 直近の
苦難



② 主の日

- ① 神の裁き
- ② 民族的回心



③ 回復

- ① 聖霊の注ぎ
- ② 千年王国

【語り継ぐべき神の警告】 ヨエル書1:1～3

ペトエルの子ヨエルにあった【主】のことは。

「長老たちよ、これを聞け。この地に住む者もみな、耳を傾けよ。このようなことが、あなたがたの時代に、また先祖の時代にあっただろうか。

これをあなたがたの子どもたちに伝え、子どもたちはその子どもたちに、その子どもたちは後の世代に伝えよ。



【いなごの害】 ヨエル書1:4～5

噛みいなごが残した物は、いなごが食い、いなごが残した物は、バツタが食い、バツタが残した物は、その若虫が食った。

目を覚ませ、酔いどれよ。泣け。泣き叫べ、すべてぶどう酒*を飲む者よ。甘いぶどう酒があなたがたの口から断たれたからだ。

- バツタ、イナゴが
変異する様子から？
→ 四段階の襲撃
(※ 4 は災いの象徴)

- 葡萄*も食い尽くす
*イスラエルの象徴



【侵略者】 ヨエル書1:6～7

ある国民*がわたしの国に攻め上って来た。それは力強く、数えきれない。その歯は雄獅子の歯、それには雌獅子の牙がある。

それはわたしのぶどうの木を荒れすたらせ、わたしのいちじくの木を木っ端にした。これを丸裸に引きむき、投げ倒し、その枝々を真っ白にした。

*…周辺諸国、アラム、アッシリア、バビロニア

■北王国をアッシリアが滅ぼし、
南王国をバビロニアが滅ぼす。



【最悪の喪失】 ヨエル書1:8～10

悼み悲しめ。粗布をまとったおとめが、その若いときの夫のためにするように。

穀物と注ぎのささげ物は【主】の宮から断たれ、【主】に仕える祭司たちは喪に服す。

畑は荒らされ、地も喪に服す。穀物が荒らされ、新しいぶどう酒も干上がり、油も涸れるからだ。

■新妻は未亡人に。献げ物もない祭司は喪に服す。収穫のない地までが、喪に服す。

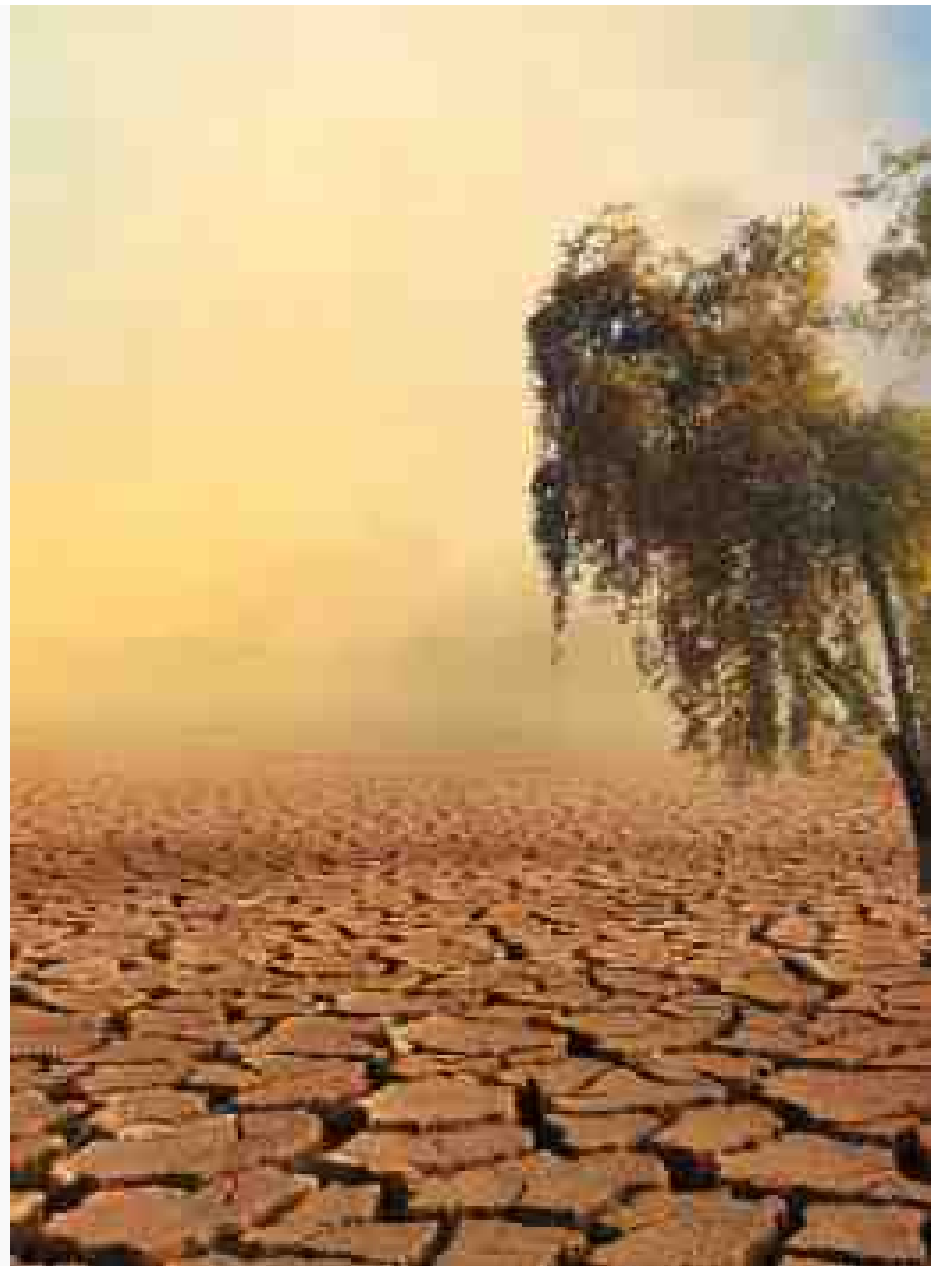
→人が考え得る最悪の喪失体験。



【大飢饉】 ヨエル書1:11～12

恥を見よ、農夫たち。泣き叫べ、ぶどう作りたち。小麦と大麦のために。畑の刈り入れがなくなったからだ。

ぶどうの木は枯れ、いちじくの木はしおれた。ざくろも、なつめ椰子も、りんごも、野のすべての木々は枯れた。喜びが人の子らから消え去った。」



【悔い改めの促し】 ヨエル書1:13～14

粗布をまとして悼み悲しめ、祭司たちよ。泣き叫べ、祭壇に仕える者たちよ。私の神に仕える者たちよ、行って粗布をまとして夜を過ごせ。穀物と注ぎのささげ物があなたがたの神の宮から退けられたからだ。

断食を布告し、きよめの集会を召集せよ。長老たちとこの国に住むすべての者を、あなたがたの神、【主】の宮に集め、【主】に向かって叫び求めよ。

- 危機の末に、イスラエルに求められるのは、悔い改め、主に立ち返って救いを求めること。





II. 主の日 ①神の裁き

ヨエル書1章15節～2章11節

【預言者たちが告げたこと】



南北時代



① 直近の
苦難



② 主の日

① 神の裁き
② 民族的回心



③ 回復

① 聖霊の注ぎ
② 千年王国

【主の日】 ヨエル書1:15

ああ、その日よ。【主】の日*は近い。全能者による破壊の日として、その日は来る。

*“ヨム・ヤハウエ” …旧約4/15回がヨエル書
新約は6回

■「主の日」は、

究極的には世の終わりの7年間の**大患難時代**。



【枯渴した蔵】 ヨエル書1:16～17

私たちの目の前で、食物が断たれ、私たちの神の宮から喜びも楽しみも消え失せた*ではないか。

穀物の種は土の下で干からび、倉は荒れ果て、穴蔵は崩れた。穀物がしなびたからだ。

*激しい飢饉で、神殿で献げる穀物すらない

➔繰り返される究極の苦難のイメージ

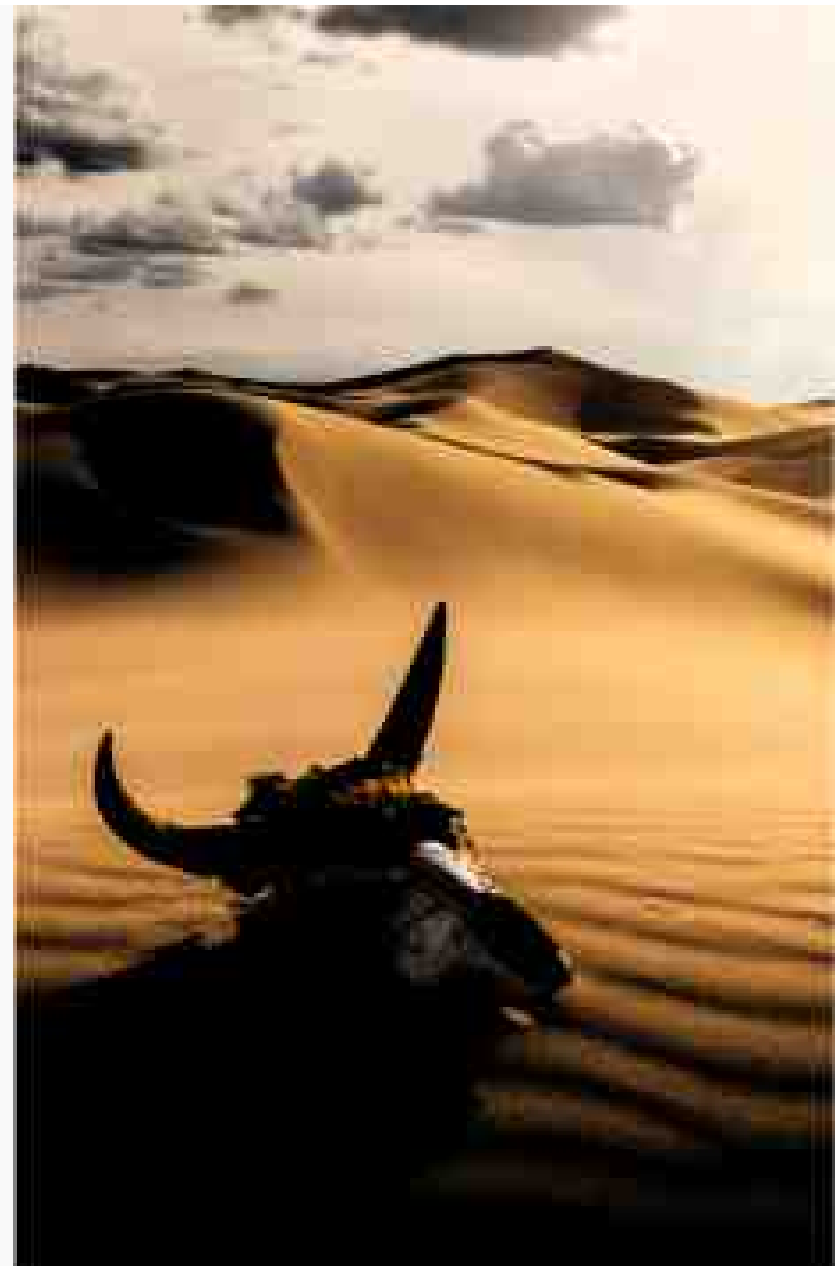


【焼き尽くされた野】 ヨエル書1:18～20

ああ、なんと家畜がうめいていることか。
牛の群れはさまよう。牧場がないからだ。
羊の群れも滅びる。

あなたに、【主】よ、私は呼び求めます。
火が荒野の牧場を焼き尽くし、野のすべての
の木を炎がなめ尽くしました。

野の獣も、あなたをあえぎ求めています。
水の流れが涸れ、火が荒野の牧場を焼き尽
くしたからです。



【敵の侵略】 ヨエル書2:1～2

「シオンで角笛を吹き鳴らし*、わたしの聖なる山でときの声をあげよ。」地に住むすべての者は、恐れおののけ。【主】の日が来るからだ。その日は近い。それは闇と暗闇の日。雲と暗黒の日。数が多く、力の強い民が、暁とともに山々の上に進んで来る。このようなことは、昔から起こったことがなく、これから後、代々の時代までも再び起こることはない。

* 敵襲を告げる角笛

■ 究極の侵略は、悪霊の軍勢によるもの



【悪の軍勢】 ヨエル書2:3～5

彼らの前は火が焼き尽くし、うしろは炎がなめ尽くす。彼らが来る前は、この地はエデンの園のよう。しかし、去った後は、荒れ果てた荒野となる。これから逃れるものは何もない。

その姿は馬さながら、軍馬のように駆け巡る。

その音は戦車のきしり、山々の頂を飛び跳ねる。その音は刈り株を焼き尽くす火の炎、戦いの備えをした強い民のよう。

- 大患難時代には、悪の軍勢が地上に放たれる。イナゴのような悪霊。軍馬のような悪の大軍勢

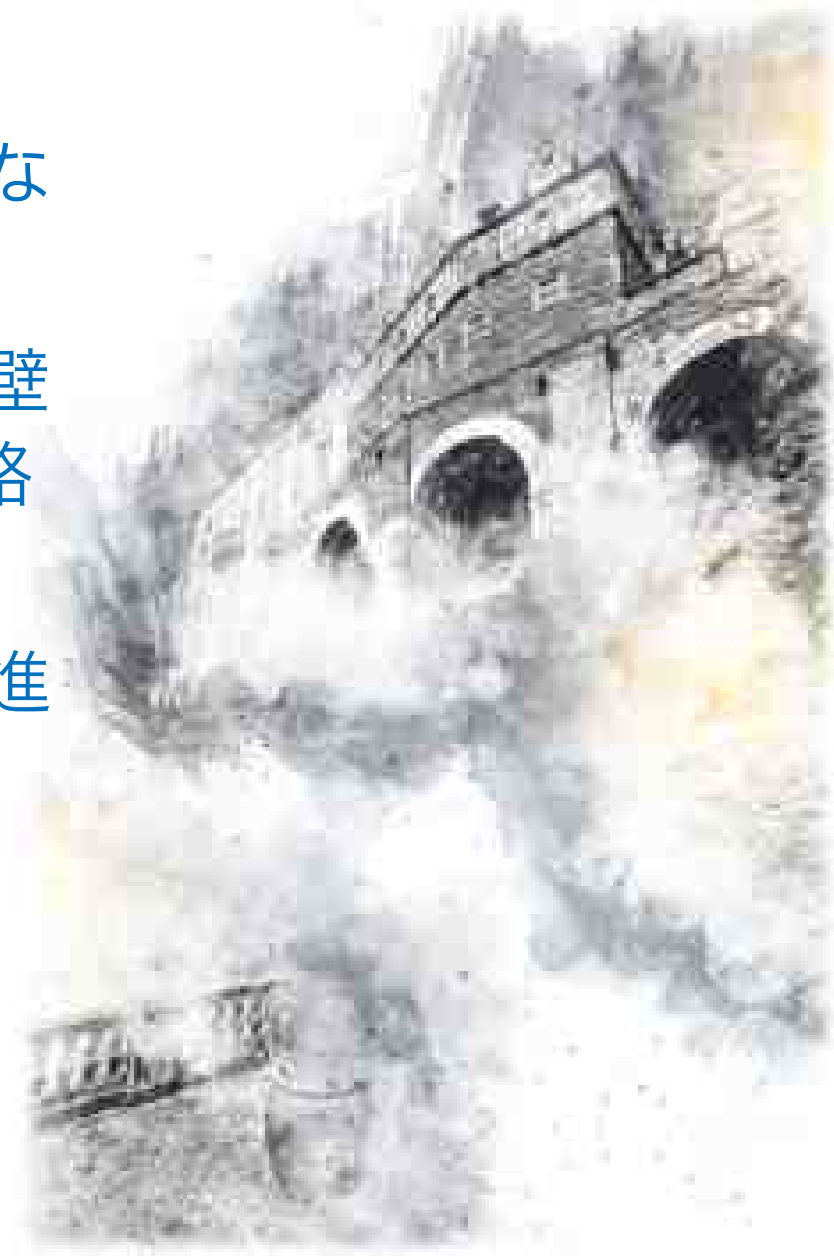


【悪の軍勢による苦痛】 ヨエル書2:6～8

諸国の民はその前でもだえ苦しみ、顔はみな青ざめる。

それは勇士のように走り、戦士のように城壁をよじ登る。それぞれ自分の道を進み、進路を乱さない。

互いに押し合わず、それぞれ自分の大路を進む。投げ槍が降りかかっても、止まらない。



【地も震え、天も揺れる】 ヨエル書2:9～11

町に襲いかかり、城壁の上を走り、家々によじ登り、盗人のように窓から入り込む。

地はその前で震え、天も揺れる。太陽も月も暗くなり、星もその輝きを失う。

【主】はご自分の軍隊の先頭に立って声をあげられる。その陣営は非常に大きく、主のことばを行う者は強い。【主】の日は偉大で、非常に恐ろしい。だれがこの日に耐えられるだろう。

悪霊の軍勢を主が裁きの器に用いられる!!





II. 主の日 ②民族的回心

ヨエル書2章12～27節

【預言者たちが告げたこと】



南北時代



① 直近の
苦難



② 主の日
① 神の裁き
② 民族的回心



③ 回復
① 聖霊の注ぎ
② 千年王国

【主の呼びかけ】 ヨエル書2:12~14

「しかし、今でも——【主】のことば——心のすべてをもって、断食と涙と嘆きをもって、わたしのもとに帰れ。」

衣ではなく、あなたがたの心を引き裂け。あなたがたの神、【主】に立ち返れ。主は情け深く、あわれみ深い。怒るのに遅く、恵み豊かで、わざわざを思い直してくださる。

もしかすると、主が思い直してあわれみ、祝福を後に残しておいてくださるかもしれない。あなたがたの神、【主】への穀物と注ぎのささげ物を。



【全イスラエルの訴え】 ヨエル書2:15~17

シオンで角笛を吹き鳴らせ。断食を布告し、きよめの集会を召集せよ。

民を集め、会衆を聖別せよ。老人たちを呼び集め、幼子と乳飲み子たちを集めよ。花婿を寝室から、花嫁を自分の部屋から呼び出せ。

神殿の玄関と祭壇の間で、【主】に仕える祭司たちは泣いてこう言え。「【主】よ、あなたの民にあわれみをかけてください。あなたのゆずりの地を、国々のそしりの的、物笑いの種としないでください。諸国の民の間で、『彼らの神はどこにいるのか』と言わせておいてよいのでしょうか。」



主にとりなし
祈る祭司たち

【主の憐れみ】 ヨエル書2:18~19

【主】はご自分の地をねたむほど愛し、ご自分の民を深くあわれまれました。

【主】は民に答えられた。「今、わたしは穀物と新しいぶどう酒と油をあなたがたに送る。あなたがたはそれで満ち足りる。わたしは二度とあなたがたを、国々の間でそしりの的としない。

■主は、ご自分の民イスラエルの愛のゆえ約束ゆえに、民の祈りに応えられる。



【ハルマゲドン】 ヨエル書2:20

わたしは、北から来るものをあなたがたから遠ざけ、それを荒廃した砂漠の地へ追いやる。その前衛を東の海に、その後衛を西の海に。その悪臭は立ち上り、その腐った臭いは立ちこめる。主が大いなることを行ったからだ。」

■ 悪の軍勢と神の軍勢の最後の戦い。

一瞬にして神の軍勢が勝利する。

(黙示録19章)



【豊かな実り】 ヨエル書2:21~22

地よ、恐れるな。楽しみ、喜べ。【主】が大いなることを行われたからだ。

野の獣たちよ、恐れるな。荒野の牧草が萌え出で、木が実を実らせ、いちじくとぶどうの木が豊かに実る。



【降り注ぐ主の恵み】 ヨエル書2:23～24

シオンの子らよ。あなたがたの神、【主】にあって、楽しみ喜べ。主は、義のわざとして、初めの雨を与え、かつてのように、あなたがたに大雨を降らせ、初めの雨と後の雨*を降らせてくださる。

打ち場は穀物で満ち、石がめは新しいぶどう酒と油であふれる。

*イスラエルの雨期(10～3月)の、初め(種まきの頃)と、終わり(実りの頃)に降る重要な雨のこと。



【主による償い】 ヨエル書2:25～26

「いなご、あるいは、バッタ、その若虫、噛みいなご、わたしがあなたがたの間に送った大軍勢が食い尽くした年々に対して、わたしはあなたがたに償う。

あなたがたは食べて満ち足り、あなたがたの神、**【主】**の名をほめたたえる。主があなたがたに不思議なことをするのだ。わたしの民は永遠に恥を見ることがない。

■ イスラエルは、永遠に、真実に、神を礼拝する民となる。



神の民イスラエルのゴール
完成の時

【民族的悔い改め】 ヨエル書2:27

あなたがたは、イスラエルの真ん中にわたしがいることを知り、わたしがあなたがたの神、【主】であり、ほかにはいないことを知る。わたしの民は永遠に恥を見ることはない。

- 主を中心に築かれる、真実のイスラエル
永遠の王国が建て上げられる。





Ⅲ. メシアによる回復 ①聖霊の注ぎ ヨエル書2章28節～32章

【預言者たちが告げたこと】



南北時代



① 直近の
苦難



② 主の日

- ① 神の裁き
- ② 民族的回心



③ 回復

- ① 聖霊の注ぎ
- ② 千年王国

【聖霊降臨】 ヨエル書2:28～29

その後、わたしはすべての人に**わたしの霊**を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、老人は夢を見、青年は幻を見る。

その日わたしは、男奴隷にも女奴隷にも、**わたしの霊**を注ぐ。

- ヘブル語聖書では、ヨエル2:28～32は単独で一つの章(3章)を形成している。
→それだけ重要視されてきた箇所!!



神の国において すべてのイスラエルに聖霊が注がれる!!

【主の日のしるし】 ヨエル書2:30～31

わたしは天と地に、しるしを現れさせる。
それは血と火と煙の柱。

【主】の大いなる恐るべき日が来る前に、
太陽は闇に、月は血に変わる。

**大患難時代は
イスラエルを民族的回心に
導くための裁きの時**



【イスラエルの民族的回心】 ヨエル書2:32

しかし、【主】の御名を呼び求める者はみな救われる*。【主】が言ったように、シオンの山、エルサレムには逃れの者がいる*からだ。生き残った者たちのうちに、【主】が呼び出す者がいる。」

*“イスラエルの民族的回心・救い”を指す

■大患難時代にイエスをメシアと信じたユダヤ人
たちを、主が守り、民族的回心に導かれる。

すべてのイスラエルは救われ
聖霊が注がれる!!



ローマ人への手紙 11章25～26節

兄弟たち。あなたがたが自分を知恵のある者と考えないようにするために、この奥義を知らずにいてほしくはありません。

イスラエル人の一部が頑なになったのは異邦人の満ちる時*が来るまでであり、こうして、**イスラエルはみな救われるのです。**

*教会時代の最後の異邦人が救われる時、携挙が起きる。

*その後の大患難時代に、イスラエルは**民族的回心**に至る。



Ⅲ. メシアによる回復 ②千年王国 ヨエル書3章

【預言者たちが告げたこと】



南北時代



① 直近の
苦難



② 主の日
① 神の裁き
② 民族的回心



③ 回復
① 聖霊の注ぎ
② 千年王国

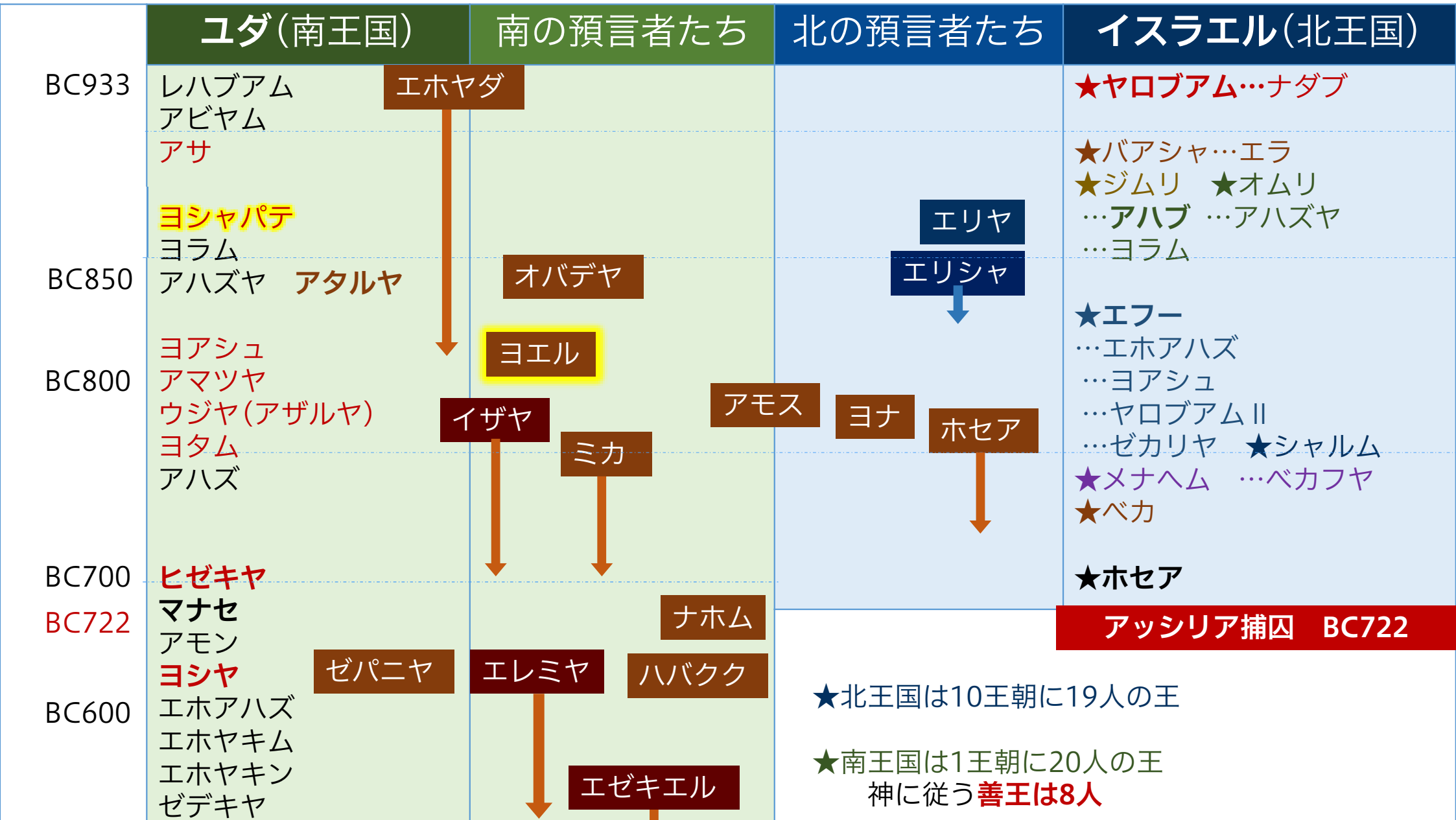
【諸国民の裁き】 ヨエル書3:1～3

「見よ。わたしがユダとエルサレムを回復させるその日、その時、わたしはすべての国々を集め、彼らをヨシャファテの谷*に連れ下り、わたしの民、わたしのゆずりイスラエルのために、そこで彼らをさばく。彼らはわたしの民を国々の間に散らし、わたしの地を自分たちの間で分配したのだ。彼らはわたしの民をくじ引きにし、少年を渡して、遊女を得、少女を売って、酒を得て飲んだ。

*4代目ヨシャファテ王は、主による裁きを徹底。
キデロンの谷か。大患難時代に地形は激変。



イスラエルを
虐げた者への
厳しい裁き



★北王国は10王朝に19人の王

★南王国は1王朝に20人の王
神に従う善王は8人

【周辺諸民族の裁き】 ヨエル書3:4

ツロとシドン、またペリシテの全地域よ。おまえたちは、わたしにとって何なのか。わたしに報復しようとするのか。もしわたしに報復しようとしているなら、わたしはただちに、速やかに、おまえたちへの報いをおまえたちの頭上に返す。

わたしの銀と金をおまえたちが奪い、わたしのすばらしい財宝をおまえたちの神殿へ運び、ユダの人々とエルサレムの人々をギリシア人に売って、彼らの領土から遠く離れさせたからだ。

見よ。わたしは、おまえたちが彼らを売ったその場所から彼らを呼び戻して、おまえたちへの報いをおまえたちの頭上に返し、おまえたちの息子、娘たちをユダの人々に売り渡す。彼らはこれを、遠くの異邦の民シェバ人に売る。——【主】は言われる。」



【裁きを行う神の民】 ヨエル書3:9～10

「国々の間で、こう叫べ。聖戦を布告せよ。勇士たちを奮い立たせよ。すべての戦士たちを集めて上らせよ。

あなたがたの鋤を剣に、あなたがたの鎌を槍に打ち直せ*。弱い者に『私は勇士だ』と言わせよ。

＊諸国民の裁きの後には逆になる

「イザヤ2:4 主は国々の間をさばき、多くの民族に判決を下す。彼らはその剣を鋤に、その槍を鎌に打ち直す。国は国に向かって剣を上げず、もう戦うことを学ばない。」



【裁きを行う神の民】 ヨエル書3:11~12

周りのすべての国々よ。急いで来て、そこに集まれ。——【主】よ、あなたの勇士たちを下らせてください——

諸国の民は立ち上がり、ヨシャファテの谷に上って来い。わたしがそこで、周辺のすべての国々をさばくために、**座に着く*からだ。**」

***栄光のメシア、主イエスが王となる。**

(黙示録19章)



【メシアによる裁き】 ヨエル書3:13~15

鎌を入れよ。刈り入れの機は熟した。来て、踏め。踏み場は満ちた。石がめはあふれている。彼らの悪がひどいから。

判決の谷には、群衆また群衆。【主】の日が判決の谷に近づくからだ。太陽も月も暗くなり、星もその輝きを失う*。

*主の栄光の前には、天体の光はすべてくすんでしまう。



【エルサレムの主】 ヨエル書3:16~17

【主】はシオンからほえ、エルサレムから声をあげられる。天も地も震える。

【主】はその民の避け所、イスラエルの人々の砦である。

「あなたがたは知るようになる。あなたがたの神、【主】であるこのわたしが、わが聖なる山、シオンに住むことを。エルサレムは聖なる所となり、他国人が再びそこを通ることはない。」



【祝福と呪い】 ヨエル書3:18~19

その日には、山に甘いぶどう酒が滴り、丘には乳が流れ、ユダの谷川のすべてに水が流れ、泉が【主】の宮から湧き出て、シティムの溪流を潤す。エジプトは荒れ果てた地となり、エドムは荒れ果てた荒野となる。彼らの、ユダの人々への暴虐のためだ。彼らはその地で、咎なき者の血を流した。

- イスラエルは、主の祝福で満たされ、敵対したエジプト、エドムは呪われ荒れ果てる。
 - ➔ ユダヤ人への対応が、大患難時代の異邦人の永遠の運命を決める。



【永遠の命・永遠の滅び】 ヨエル書3:20~21

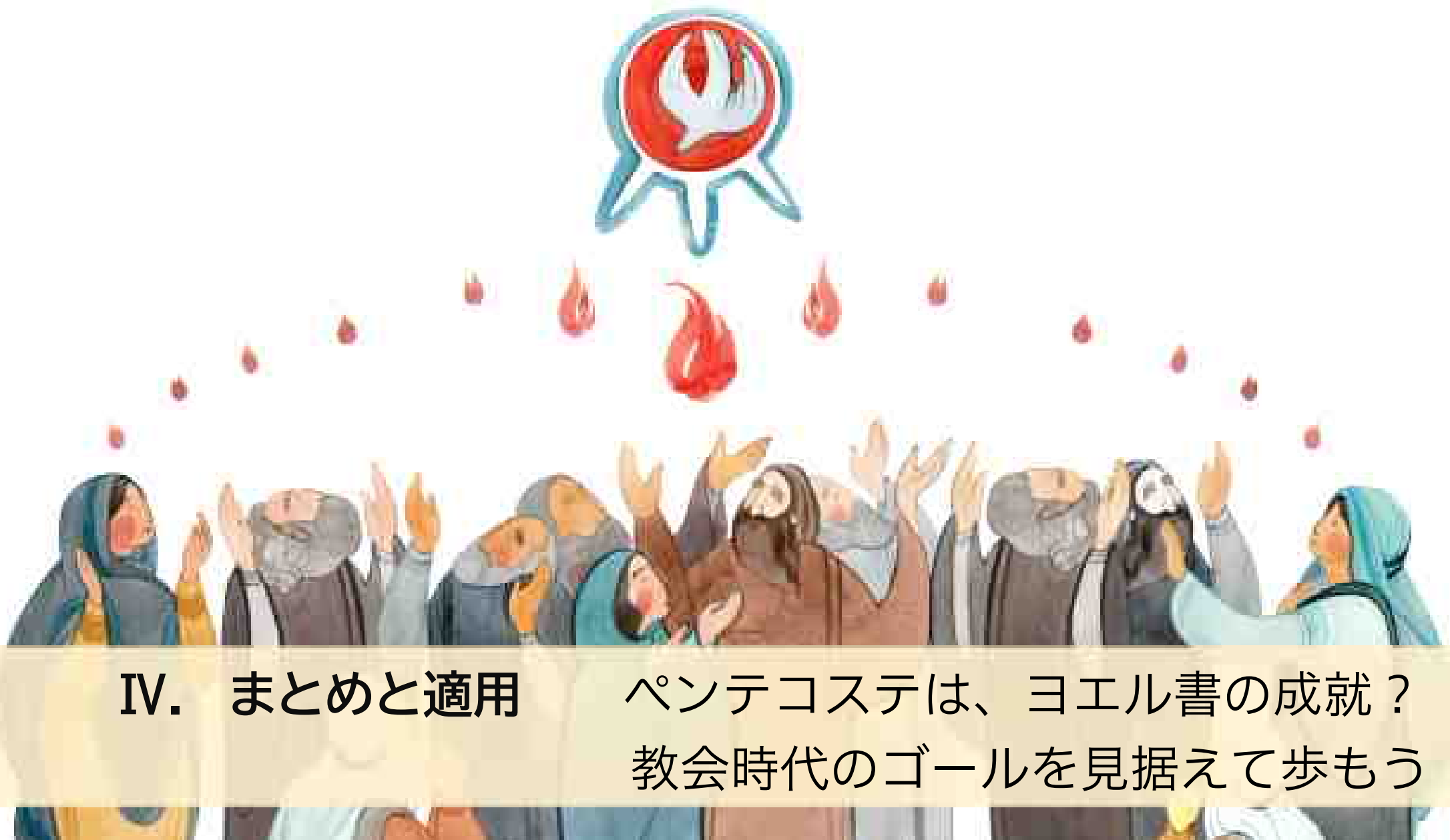
しかし、ユダは永遠に、エルサレムは代々にわたって人の住む所となる。

わたしは彼らの血の復讐をし、罰せずにはおかない。【主】はシオンに住む。」

- イスラエルのメシア、イエスの福音を信じるか。
→ 永遠の救いか、永遠の滅びかを定めること。
- 主が、ご自身の都エルサレムに永遠に住まう。
神の栄光が、永遠に地と人々と共におられる。

時代は、究極のゴールへ向かっている!!





IV. まとめと適用

ペンテコステは、ヨエル書の成就？
教会時代のゴールを見据えて歩もう

ペンテコステに告げられたヨエル書

- 主イエスの復活から50日後、昇天から10日後、エルサレムで祈っていた弟子たちに聖霊が降った。
- 知らないはずの言葉で語り出した弟子たちを見て、各地から集った離散のユダヤ人たちは驚愕した。
- 酔っているのだと嘲る者もいる中、ペテロが立ち上がり、50日前には逃げ出したこの都で、己の命も問わず、堂々と語り出した。



2:14 ペテロは十一人とともに立って、声を張り上げ、人々に語りかけた。「ユダヤの皆さん、ならびにエルサレムに住むすべての皆さん、あなたがたにこのことを知っていただきたい。私のことばに耳を傾けていただきたい。

2:15 今は朝の九時ですから、この人たちは、あなたがたが思っているように酔っているではありません。

2:16 これは、預言者ヨエルによって語られたことです。



ペンテコステに告げられたヨエルの預言

ヨエル書 2章28～32節

2:28 その後、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。

あなたがたの息子や娘は預言し、老人は夢を見、青年は幻を見る。

2:29 その日わたしは、男奴隷にも女奴隷にも、わたしの霊を注ぐ。

2:30 わたしは天と地に、しるしを現れさせる。

それは血と火と煙の柱。

ペンテコステに告げられたヨエルの預言

ヨエル書 2章28～32節

2:31 【主】の大いなる恐るべき日が来る前に、太陽は闇に、月は血に変わる。

2:32 しかし、【主】の御名を呼び求める者はみな救われる。

【主】が言ったように、シオンの山、エルサレムには逃れの者がいるからだ。生き残った者たちのうちに、【主】が呼び出す者がいる。」

ペテロが成就したと告げたヨエル書2章28～32節の意味

- 主の日(大患難時代)の最後、イスラエルの民族的回心によって、イスラエルは救われ、すべてのイスラエルに聖霊が注がれる。
- ペンテコステに、この預言が成就した？
 - ➔ 実際に、この日に信じたイスラエルは、3千人。
100万人以上集っていたと言われる巡礼者の1%未満。
- ペテロは、聖霊の助けによって、教会時代の全体を捕らえ、俯瞰的に見ている。

ペテロの視点でこの時代を見ると？

【ペテロが理解したヨエルの預言とこの時代】



ペテロが理解した、ペンテコステの意味

- 離散した各地からのユダヤ人の巡礼者たちに、しるしが現れた。彼らユダヤ人の離散は、ヨエルが警告した罪の結果。
- ユダヤ人は、イスラエルのメシアを拒んだが、それでも、アブラハムへの神の一方的な約束のゆえ、見捨てられていない。
- 主イエスを信じた、残された信仰者である弟子たちに聖霊が降った。
 - ➔ 主の日に来る、イスラエルの民族的回心・救いの始まり。
 - 恵みの時代の最後が、大患難時代。その最後が民族的救い。

ペンテコステの聖霊降臨は、神の民イスラエルに対する聖霊の注ぎ

ペンテコステに異邦人信者が覚えるべきこと

- 教会が誕生したときの構成員はすべてイスラエル、ユダヤ人だった。
- 聖霊降臨は、この時代の最後のイスラエルの民族的回心につながる。
- ユダヤ人の拒絶により、福音は異邦人にもたらされたが、主は、決してイスラエルを見捨てられたのではない。
- 主の日・大患難時代の終わりに、イスラエルは回心し、主イエスは、王の王として再臨し、地上に神の国を建設される。

この時代のカギもゴールも、イスラエルが握らされている!!

異邦人信者が第一に覚えるべきこと

ローマ人への手紙 11章

11:1 それでは尋ねますが、神はご自分の民を退けられたのでしょうか。決してそんなことはありません。

11:25~26 兄弟たち。あなたがたが自分を知恵のある者と
考えないようにするために、この奥義を知らずにいてほしくは
ありません。イスラエル人の一部が頑なになったのは異邦人の
満ちる時が来るまでであり、こうして、イスラエルはみな救わ
れるのです。

異邦人信者の使命

- 神の計画は、今も変わらず、イスラエルを中心に進んでいる。私たち異邦人信者には、ユダヤ人にねたみを起こさせ、救いに至らせる使命がある。(ローマ11:11~14)
- 救いのよき知らせ・福音、聖霊の内住は、ユダヤ人を通して私たち異邦人に与えられた。恵みへの感謝の応答は、私たちの義務。
「ロマ15:27 異邦人は彼らの霊的なものにあずかったのですから、物質的なもので彼らに奉仕すべきです。」

イスラエルの救いを祈り、ユダヤ人伝道のために献げよう!!

★ペンテコステの出来事が教える 神の約束と計画の確かさ★

- イスラエルへの約束の確かさは、私たちの救いの確かさの土台。
イスラエルへの神の憐れみは、私たちへの神の愛をも確信させる。
- イスラエルに現されているように、主はご自身の約束を絶対に守られる。
福音を信じ、聖霊の刻印が押された者の救いは、決して失われない。
- 確かに約束された永遠の救いがあるからこそ、私たちは、性懲りもなく、
罪を繰り返しつつ、それでも聖霊に促されて、罪を告白し、赦しを得、
信仰を成長させ、神の似姿として変えられていくことができる。

イスラエルへの主の約束が、私たちの救いと聖化の変わらぬ土台

異邦人信者が第一に讃えるべき主の御業

ローマ人への手紙 11章

11:33 ああ、神の知恵と知識の富は、なんと深いことでしょう。神のさばきはなんと知り尽くしがたく、神の道はなんと極めがたいことでしょう。

11:34 「だれが主の心を知っているのですか。だれが主の助言者になったのですか。

11:35 だれがまず主に与え、主から報いを受けるのですか。」

11:36 すべてのものが神から発し、神によって成り、神に至るのです。この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。

「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。

わたしは、まぎれもない罪人です。この罪をゆるしてください。

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

この福音を信じて告白したわたしの内に、聖霊が住まわれています。

心に刻まれた主のしるしは、決して失われることはありません。

主の約束を信頼し、日々の使命に歩ませてください。

主よ、イスラエルを救い、王の王として来てください。マラナタ。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」